

ごみの行方を追え!

～ペットボトルリサイクルの様子～

みなさんに分別して出してもらっているペットボトルは、リサイクルプラザで、リサイクルするための処理(圧縮・梱包)を行った後、リサイクルする工場に運ばれます。では、工場に運ばれたペットボトルはどのようにリサイクルされているのでしょうか。その様子を追ってみましょう。



リサイクル工場に運ばれたペットボトル



手選別によって最終チェックをします。



粉碎したペットボトルを洗浄液で洗浄します。



フレーク(8mm角くらいに粉碎したペットボトルを洗浄し乾かしたものができあがります。



ペレット(フレークを熱で溶かして小さな粒状に裁断したもの)を製造します。



ペレットを薄く延ばし、製品に加工します。



X線で塩化ビニールが原料のボトルを除去します。

CCDカメラで着色ボトルを除去します。

アルミ等の非鉄金属を分離します。

ペットボトルを粉碎します。

ペットボトルを1本、1本に分けます。

ラベルを取り除く工程は全部で6回もあるんだって。最初からラベルをはずして出してね。



最近ではBtoB(ボトルtoボトル)と言って、ペットボトルをもう一度ペットボトルにするリサイクルが行われているんだよ。

今回は卵パックにリサイクルしている工場を見学させてもらったけど、他にもネクタイとか作業着とか、いろいろなものにリサイクルされているんだよ。

取材協力：ジャパンテック株式会社 宇都宮工場 / 協栄産業株式会社 小山工場 / ジャパンハイバック株式会社

ごみの出し方お願いコーナー ●ペットボトルの正しい出し方

上記のように、ペットボトルは他の製品に生まれ変わりますが、汚れたものや異物が入っているものはリサイクルすることができません。ペットボトルの正しい出し方にご協力をお願いします。



①キャップとラベルを外す。

※キャップはプラスチックのものはプラスチック製容器包装。アルミのものは金属類。ラベルはがし、はがしたラベルは記載されている識別表示に従い分別する。



②中をすすぐ。



③つぶして資源物ステーションへ出す。

お知らせ

「川口市家庭ごみの分け方・出し方」配布のお知らせ

「川口市家庭ごみの分け方・出し方」を7月に市内の全世帯へ配布することとなりました。一般ごみや資源物の細かい分け方やごみの自己搬入の方法、市では収集・受入をしていないものの処理方法などを詳しく載せていますので、ぜひ参考にしてください。

問い合わせ 廃棄物対策課 減量推進係 TEL.048-228-5370